

医療機関と地域母子保健の連携に関する研究

岡村 敏 弘*, 三 浦 昭 子*, 吉 田 久 子*
佐々木 幸 子*

要約

平成元年度は、予防活動の機能をもつ病院の、地域保健活動部の検診活動や地域との連携について報告した。家族構成や子育てに関する意識が変化している中で、今回は家族構成員の重要な柱である父親自身に焦点をあてた。乳幼児検診や子育てを、父親がどのように意識しているか調査した。

職業による父親の在宅時間の長さが5才以下の乳幼児の育児にどのようにかかわっているのかアンケート調査をした結果、会社に勤務する父親に比べて農業の父親は在宅時間が長い。日常、子どもと一緒に遊んだり食事や入浴を共にするなどの触れ合いが多い傾向にあるが、休日は会社員の父親は農業の父親より子どもとの接触時間が多くなる。乳幼児検診の結果への関心度は、農業、会社員共に差はないが、15%は関心がないとしている。

見出し語：父親の在宅時間、乳幼児健診、子育て

研究方法

調査対象：かつては純農村といわれたが、農村への工場進出により、勤務する父母が激増している由利町を選んだ。町の人口は、約7,000人である。

調査方法：5才以下の乳幼児をもつ家庭316戸にアンケート用紙を送付し、回収数は254枚、80.4%である。

(表1)在宅時間の長さの違いから、父親の職業を農業及び自営業のグループ(以下農業)と、通勤する会社員、団体職員、公務員等のグループ(以下会社員)に分けて比較検討した。

調査結果

1. 父親の職業：農業の父親は48例(18.9%)、会社員の父親は206例(81.1%)である。
2. 家族形態：祖父母のいる複合家族が、農業89.6%、会社員90.8%で差がなく、地域的な特徴が出ている。
3. 子どもの世話をする人：日中は母親が農業33.3%、会社員17.0%で農業の方が高率である。積極的に育児に

参加していると思うと答えた父親は、農業58.3%、会社員57.3%と差はない。父親の育児の参加について、母親からの評価は、そう思わないと答えた割合は、農業29.2%、会社員32.5%で父親より低く出ている。(表2)

4. 子どもとの1日の接触時間：平日が4時間以上は農業31.3%、会社員17.1%で農業の方が高率である。休日は、4時間以上が農業64.6%、会社員72.8%と会社員の方が高率となっている。(表3)

5. 日常生活を子どもと共にする割合：子どもと殆んど遊ぶ機会がないのは農業2.1%、会社員5.8%で会社員

表1 父親の職業別、年代別対象者

	農業、自営他	会社員、団体職員、公務員	計
20代	3	25	28
30代	34	155	189
40代	11	26	37
計	48	206	254

・秋田県厚生連由利組合総合病院(Yurikumiai General Hospital)

の方が高率である。

子どもと共に食事をするのは、いつもと答えた父親は農業62.5%、会社員42.7%で農業が多い。入浴を子どもと一緒にすることがない父親は、農業4.2%、会社員7.3%で会社員の方がやや高い。

6. 乳幼児健診の結果への関心度：農業、会社員に差がなく、83%がありと答えている。(表4)

7. 育児をする時間：母親に十分あると答えた父親は、農業25%、会社員11.7%で農業の方が高率である。少ないと答えた割合は、農業22.9%、会社員35.9%である。(表5)

8. 育児上の悩みの相談相手：家族が最も多く農業52.1%、会社員58.3%、次いで近所の人、農業25%、会社員42.7%、3番目が保健婦、農業18.8%、会社員12.6%となっている。(表6)

9. 育児について：家族で言い争うことがあるは、農業が多く73%、会社員60.6%である。その内容は、しつけについてが最も多く、農業68.5%、会社員81.6%で、会社員の方が多い。

まとめ及び考察

アンケート調査の結果をまとめると、

1. 会社に勤務する父親に比べ、在宅時間が長い農業の父親は、日常子どもと一緒に遊んだり、食事をしたり、入浴したりに触れ合いが多い傾向にある。しかし、休日となると会社員の父親は、農業より子どもとの接触時間が多くなり、ふだん一緒に生活しにくいところを埋め合わせていると伺われる。

2. 父親が育児へ、積極的に参加していないと答えた父親本人は、農業37.5%、会社員38.8%と差はないが、母親からみると、農業29.2%、会社員32.5%と父親よりやや低い回答となっており、父親に対する母親の評価がややよい傾向がでている。

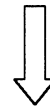
3. 母親に育児の時間が十分あるかどうか、父親の側からみると十分あるは、農業が多く、少ないは会社員が多い。これは、母親の職業が、父親と同じ傾向にあり、父親が農業の場合母親も農業が12.5%、会社などの勤務が47.9%、父親が会社員の場合は母親が農業は1.0%、会社員などは77.6%となっているためと考えられる。

設 問		農 業、自 営	会 社 員 他	計	
表2 父親は積極的に育児に参加していると思えますか	(父)	はい	28 (58.3)	118 (57.3)	146 (57.5)
		いいえ	18 (37.5)	80 (38.8)	98 (38.6)
	(母)	はい	27 (56.3)	123 (59.7)	150 (59.1)
		いいえ	14 (29.2)	67 (32.5)	81 (31.9)
表3 子供との一日の接触時間	〔平日〕	～1.9時間	13 (27.1)	66 (32.0)	79 (31.1)
		2～3	18 (37.5)	105 (51.0)	123 (48.4)
		4～5	12 (25.0)	30 (14.6)	42 (16.5)
		6～7	3 (6.3)	3 (1.5)	6 (2.4)
	〔日曜日〕	～1.9b	4 (8.3)	10 (4.9)	14 (5.5)
		2～3	10 (20.8)	38 (18.4)	48 (18.9)
		4～5	13 (27.1)	46 (22.3)	59 (23.2)
		6～7	7 (14.6)	24 (11.7)	31 (12.2)
8～	11 (22.9)	80 (38.8)	91 (35.8)		
表4 乳幼児の検診結果に関心ありますか	あ	る	40 (83.3)	171 (83.0)	211 (83.1)
		ない	7 (14.6)	32 (15.5)	39 (15.4)
	検診結果を聞いたことあり	37 (92.5)	149 (87.1)	186 (88.2)	
〔複数回答〕	家族に相談したことあり	7 (17.5)	38 (22.2)	45 (21.3)	
表5 母親は育児に十分時間があると思いますか	(父)	あ	12 (25.0)	24 (11.7)	36 (14.2)
		ふ	22 (45.8)	98 (47.6)	120 (47.2)
		少ない	11 (22.9)	74 (35.9)	85 (33.5)
	(母)	あ	10 (20.8)	26 (12.6)	36 (14.2)
		ふ	20 (41.7)	74 (35.9)	94 (37.0)
		少ない	15 (31.3)	93 (45.1)	108 (42.5)
表6 育児上の悩みの相談相手	〔複数回答〕	保健婦	9 (18.8)	26 (12.6)	35 (13.8)
		医師	7 (14.6)	15 (7.3)	22 (8.7)
		家族	25 (52.1)	120 (58.3)	145 (57.1)
		近所の人	12 (25.0)	88 (42.7)	100 (39.4)
		職場の人	0	1 (0.5)	1 (0.4)
		他	3 (6.3)	14 (6.8)	17 (6.7)



検索用テキスト OCR(光学的文字認識)ソフト使用

論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります



要約

平成元年度は、予防活動の機能をもつ病院の、地域保健活動部の検診活動や地域との連携について報告した。家族構成や子育てに関する意識が変化している中で、今回は家族構成員の重要な柱である父親自身に焦点をあてた。乳幼児検診や子育てを、父親がどのように意識しているか調査した。

職業による父親の在宅時間の長さが5才以下の乳幼児の育児にどのようにかかわっているのかアンケート調査をした結果、会社に勤務する父親に比べて農業の父親は在宅時間が長いため、日常、子どもと一緒に遊んだり食事や入浴を共にするなどの触れ合いが多い傾向にあるが、休日は会社員の父親は農業の父親より子どもとの接触時間が多くなる。乳幼児検診の結果への関心度は、農業、会社員共に差はないが、15%は関心がないとしている。